

中国南部貴州省の少数民族の人たちとその生活 - 2019年の招待撮影行

長岡 正利

中国の貴州省は、雲南省から東方の湖北省に向かって低くなる、
標高1000m前後の、雲貴高原と呼ばれる起伏に富んだ山地になっ
ています。

貴州省の広域には古生代の石灰岩が分布して、中国有数のカル
スト地帯(中国南方カルスト)となっており、一部は世界遺産に登
録されています。大きな平地がないことから、「地に三里の平地無
し」と言われ、全域が亜熱帯高原であるため、極端な暑さ寒さは
ないものの、降水量は多く、晴天の日が少ないことから、「天に
三日の晴れ無し」。僻遠のこの地は、昔は貧しかったがゆえに、
「人に三銭の金無し」。



(中国「貴州省」の位置)

すばらしい自然に恵まれ、今は、近代化進展の中での心暖かな人達の地です。



貴州省の省都・貴陽市には、明の
萬曆帝の時代に、「科挙」合格者が
出ること祈念した高秀楼が現存。

市街地から離れた農山村にも、
突然に高層ビル群が出現。

山間部が多く、農耕地の殆どは
見事に作られた棚田。
(日本でも、むかし、よく見た風景。)

少数民族「苗(Miao)族」の一聚落。
下写真の「黔东南苗族侗族自治州
雷山県 郎徳苗寨」で。

貴州省の人口は約3856万人で、漢族が64%(約2637万人)。少数民族で多いのは 苗族463万人で、
以下、布依族308万人、侗族193万人と続きます。省面積の1/2以上が少数民族の自治区域となっ
ています。〔以上の統計データの出典は、2022年・中文版「維基百科」など。〕

秘境の名の高い貴州ですが、省都・貴陽は昆明などからの全国高速鉄道網に組み込まれ、全国土に
広がる五縦七横の国家級高速道路のほか、省級の高速度もあって、小規模聚落にも舗装道路が通じ
ています。

ここでは、省都・貴陽市や古都鎮遠などに加えて、6つ少数民族地の人たちと、
その生活を紹介します。なお、民族が同じでも、その聚落(寨;村)が違えば、
人々の装いなどは違うのが普通です。下は、苗族の「郎徳」村にての。



村の入り口で、歓迎の蘆笙演奏。
(貴州省の「郎徳苗寨」で。)



広場の中央での蘆笙。重低音の
大笙から、旋律演奏の小型まで。
昔が想われる懐かしいメロディの。



蘆笙を囲み、総出での旋廻。



村へ入る前のお酒でのお出迎え

【参考資料】「貴州省日本観光センター」ホームページ(邦文版)；綺麗な写真もご覧になれます。

中文版Wikipedia(維基百科)の「貴州省」と、Web「人民網」中文版トップから→「地方」→「黔」→「貴州省」

「中国南部貴州省の少数民族の人たちとその生活—2019年の招待撮影行」



第58回 雲南懇話会

中国南部 貴州省の少数民族の人たちとその生活

長岡 正利

今回のお話しは、中国貴州省での招待撮影行の結果の報告です。

「日中友好写真家協会」と「国際マウンテンツーリズム連盟」の共催実施。

この企画・実施と同行の烏里烏沙様(彝族・い族)には、お世話になりました

日本中国友好写真家協会・国際マウンテンツーリズム連盟共催

銀装の乙女が舞う！ミャオ族の恋祭「姉妹飯祭り」を撮影・取材の旅 多彩貴州少数民族地帯に行く・日中両国の写真家たちが交流の旅



盛装をしている苗族女性—姉妹飯祭り

- 旅行期間：2019年4月18日(木)～26日(土)9日間
- 募集人数：8名限定(早めにお申し込みください)
- 旅行費用：ご招待(現地までの航空運賃10万円は自己負担となる)
- 募集締切：2019年2月25日(月)まで
- 旅先紹介

豪華な刺繍のある娘たちの晴着、金色に輝く上着の背中にテープ状の赤い織物模様が四角左右対称に並び、刺す糸の方向がそれぞれ異なるため、陽光に当たるとより美しい・・・こんな彼女の美しい衣装が見られる一番の機会はやはり「姉妹飯祭り」です。

姉妹飯祭りは名前通り美しい五色のおこわ—姉妹飯を食べる祭りです。五色にはそれぞれ意味があり、樹木や花の汁を加えて別々に蒸したおこわを最後に混ぜます。

姉妹飯祭りの当日は、多くの露店で賑わい、周辺の村々から観衆を身に着けた少女達がシャンシャンと銀装の上のこすれる音をさせながら集まり、男達の太鼓の音に合わせて踊ります。民家では赤や青、黄色に染めたもち米(姉妹飯)やご馳走、お酒が振る舞われ、祭はさらに盛り上がり、撮影・取材では一番のチャンスではないかと思えます。

また、高華村ヤオ族伝統の「薬浴」を体験します。竹林に囲まれたヤオ族の村では一日の仕事の終わりに薬草を入れた湯に入る習慣があります。以前ヤオ族には常病という概念がなく、薬湯を直接木の桶に入れて、家族で順番につかっていました。必要に応じて関節炎、婦人病などを治療する薬

草を加えることもできます。いまはこの独自の入浴方式は国の無形文化遺産に登録されています。

今回の旅のハイライトは中国最美の十大古城の一つと評された「鎮遠古城」も訪問し、夜の古城を散策します。

この旅は日本中国友好写真家協会と国際マウンテンツーリズム連盟(中国)共催する事で、貴州省の豊富な民族文化を日本の写真家たちに取材されるようミャオ族の恋祭「姉妹飯祭り」に合わせて計画したものです。お祭りを撮影・取材するほか観光化されていない素朴な村も訪ねます。行き先は多彩な民族文化、各民族的の暮らしなど、日本にはもつけない風景、魅力あふれるところ数々・・・

日本からは中国出身、日本で活躍している写真家烏里烏沙氏(日本中国友好写真家協会理事長)が同行します。現地ではガイドおよび専用車も用意して、写真が取りやすいように行き先の撮影ポイントも工夫していただきます。ご興味をお持ちの方はぜひ自ら独特の視点で作品を創作しませんか。

旅先で撮影した作品は今年12月の専士フォトギャラリー銀座に発表する写真展を計画しております。どうぞ、この機会にふるって写真家の皆様のご参加をお待ちしております。

■スケジュール

- 1日(4月18日・木) 京—貴 陽 【空路・上海か北京経由】
- 2日(4月19日・金) 貴 陽—鎮 遠 【(朝)上茶 李刀兵家ミャオ村 大徳塔頂ミャオ族村】
- 3日(4月20日・土) 鎮 遠—施 洞 【姉妹飯祭り取材・ミャオ族の家を訪問】
- 4日(4月21日・日) 施 洞—鎮 遠 【中国最美の十大古城「鎮遠古城」を散策】
- 5日(4月22日・月) 鎮 遠—從 江 【銀漢橋を訪問 夜は街散策】
- 6日(4月23日・火) 從 江—高華村 【小興洞樂のトン 族大歌体験・高華村ヤオ族伝統の「薬浴」を体験】
- 7日(4月24日・水) 高華村—丹 寨 【苗族古舞・苗族鼓舞 夜は街散策】
- 8日(4月25日・木) 丹寨—都勻—貴陽 【都勻石板街を訪問】
- 9日(4月26日・金) 貴 陽—東 京 【帰国・北京か上海を経由】

一般社団法人 日本中国友好写真家協会

事務所 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北6-23-11-504

- お問い合わせ→事務局まで
- お申し込み→メールかFAXでお願いたします
- TEL: 03-5912-1232 FAX: 03-5912-1233 ●wusa@gesanmedo.or.jp

自己紹介を

1947(昭和22)年に富山県福野町(現・南砺市)で生まれ、金沢大学ではワンダーフォーゲル部で、もっぱらに山へ。その理学部地学科では、卒論・修論で「白山火山の地質と形成史」をまとめた。卒業後は、当時の建設省・国土地理院へ就職。(当時の環境庁水質保全局と建設省河川局にも計5年間出向) 1999(平成11)年、51歳での勤奨退職(当時の「お役所の掟」)で国土地理院を辞して、65歳まで、民間企業の5社ほどを。最後の2年間は、「日本地図センター」からの派遣社員として、国土地理院「地図と測量の科学館」の管理運営業務に。唯今76歳で、興味の対象は、いわゆる「西域」から カラコルム・ヒンズークシュと、横断山脈から中国・東南アジア。ほか、地図蒐集・写真・能。



(長岡、1999:カラコルム・バルトロ氷河の奥から見たK2)

中国南部 貴州省の少数民族の人たちとその生活

日本山岳文化学会 第18回大会



次の内容について、沢山のスライドでご紹介します。

関係各位から頂いた写真・図版には、撮影者名等を付記しています。

- ① 中国貴州省と少数民族について、ごく概要を
- ② 貴州省各地の伝統的な衣裳とお祭り
(各地ごとの、「少数民族の人たちとその生活」を含む)

(貴州省 湄潭鎮麻鳥村「新鶏舞」の地・長岡、2019.04)